

2024年度 2月号

ぞうぐみだより

社会福祉法人 尚徳福祉会 生麦保育園



寒さや乾燥が気になる季節になりましたが子どもたちは毎日元気いっぱい過ごしています。感染症が流行る時期でもありますので、室内を加湿したり室温を調節したりして体調管理に気を付けていきたいと思えます。手洗いうがいをしっかりと行いながら楽しく活動をしていきます。



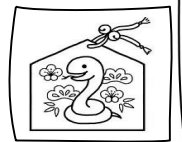
子どもたちの様子

新年があけて百人一首、こま、お手玉とお正月の伝承遊びをしました。坊主めくりでは、「これはぼうず？」と友だち同士で確認しながら取る様子はかわいらしく微笑ましいです。こまも初めはなかなか回せず苦戦していましたが、少しずつコツを掴み始め上手に回せるようになってきました。今でも「やりたい！」と気合い十分な様子。お楽しみ会後から大縄跳びがぞう組でブームになりみんな列を作ってたくさん飛んでいます。その際みんなで数を数えている姿には団結力を感じます。



お正月制作

今年はへび年なので絵の具を使いみんなでへびを描きました。筆を使いへびをのびのびと描く様子はとても個性がありました。「冬だから雪だるまを描こう」「ここにハートを描いて可愛くしたい」と友だちと会話を楽しみながら描いていました。「あけましておめでとう」と平仮名にも挑戦！「あ」や「め」が難しかったようで「難しい……」という声も聞こえてきましたが書き終わると「こうやって書くんだね」と少し平仮名に興味を持つ様子も見られました。



おとうばん活動

1月からお当番活動の1つでうさぎ組さんの午睡トントンをしたり、午睡明け布団を畳んだりする活動が始まりました。うさぎ組の友だちをトントンすることが楽しみなようです。片付けも保育者が声をかけなくても机を拭いたり、床を綺麗にしたりとみんな積極的に行っています。「今日うさぎ組さんに行く日？」「やった～」と喜ぶ様子も見られます。お手伝いをする子どもたちの姿に成長を感じました。



～ありがとうございました～



先日は懇談会へのご参加ありがとうございました。家庭や園での子どもたちの様子を知ることができたかと思えます。また何か不明なことがありましたら気軽に声をかけてください。3月まで子どもたちと一緒にたくさんの思い出を作っていきたいと思えます。